

[特集] 女性の不妊症

- 園尾病院長による年頭所感
- 診療科紹介 眼科
- ホームページリニューアルのお知らせ
- イベントのご案内
- 「男性の不妊症」について
- 連携医療機関のご案内
- 次号予告

年頭所感

川崎医科大学附属病院
病院長 園尾博司



今こそ「医療は患者のために」

新年おめでとうございます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

当院は、今年で開設45年目を迎えております。開設以来、「医療は患者のためにある」、「24時間いつでも診療する」という病院の理念を継承し、職員一丸となって診療を行っています。

日本は国民皆保険制度と高度医療の普及により世界トップクラスの長寿国になり、超高齢社会を迎えています。自ら養生して健康寿命を伸ばし、元氣な笑顔で百寿を迎えられるように職員一同、応援いたします。

当院は、本年も患者さんの命と健康を守るため、24時間体制ですべての領域の医療ができるように専門医と医療者を配置しています。医療者同士や患者さんとの良好なコミュニケーションは当院が大切にしている基本です。また、地域の病院・診療所の皆様との円滑な連携を深めつつ、高度急性期病院として、高度で良質な医療を行っています。経済優先の時代風潮ですが、今こそ「医療は患者のためである」を大切にしたいと思っております。最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心より祈念いたします。

今号特集

女性の不妊症

不妊症が増えています

妊娠を希望しているにも関わらず1年経過しても妊娠に至らない場合を不妊症と言います。結婚年齢の高齢化などの社会的背景の変化によって不妊症は増加していると考えられており、現在では6組に1組ほどの割合で不妊症の方がいます。平成27年に行われた体外受精は42万件余りで赤ちゃんの約20人に1人に当たる約5万1000人が体外受精の技術による妊娠で誕生しています。女性の年齢にもよりますが、半年で妊娠しなければ検査や治療を考えても良いと思います。

妊娠のプロセスと不妊症の検査

妊娠のプロセスは図(誌面右下記)に示すように排卵時期に精子が卵管膨大部まで移動します。一方、排卵した卵子は卵管に拾い上げられて卵管膨大部に移動し、精子と受精が成立します。受精卵は細胞分裂を繰り返しながら子宮内に移動し、1週間後に子宮内膜に着床して妊娠が成立します。この妊娠のプロセスのどこかに問題があると不妊症となります。

不妊症の原因は、大きく男性側(精子)と女性側に分けられ、さらに女性側では排卵因子、卵管因子、子宮因子、頸管因子に分けられます。

川崎医科大学附属病院
産婦人科 部長

下屋 浩一郎

Shimoya Kouichirou

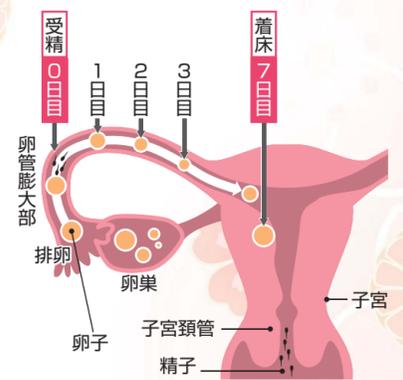
- 日本産科婦人科学会専門医
- 日本周産期・新生児医学会暫定指導医
- 母体保護法指定医
- 日本生殖医学会生殖医療専門医



不妊症の治療

以前には不妊症の原因の多くが女性側にあると言われていましたが、現在では男女別の原因はほぼ同程度であると考えられています。不妊症の治療を行うにあたっては不妊原因を特定することが重要で左記の「不妊症の検査」表にあるような検査を行います。男性側の検査として精液検査を行います。精液検査で異常が見出された場合には泌尿器科にて詳しい検査を行います。当院には男性不妊の専門医も永井敦部長をはじめ複数います。女性側の原因が多岐にわたるので産婦人科受診後2〜3か月かけて原因を探索して行きます。排卵因子の検査として基礎体温、ホルモン検査、超音波検査による卵胞発育測定などを行います。基礎体温は、起床時に口腔内の体温を測定するもので排卵に伴って基礎体温が上昇することによって排卵の有無さらには妊娠の診断を行うことができ、必須の検査と言えます。卵管因子の検査として子宮卵管造影検査、クラミジア検査などを行います。子宮卵管造影検査によって子宮内の異常も見出すことが出来ます。頸管因子の検査として頸管粘液検査やフナー検査(性交後検査)を行います。フナー検査は、性交後の精子が子宮頸管内で元気に動いていることを確認する検査です。

妊娠のプロセス



不妊症の検査

男性の検査 ● 精液検査

女性の検査

- 排卵因子: 基礎体温、ホルモン検査、頸管粘液検査、超音波検査(卵胞発育)など
- 卵管因子: 子宮卵管造影検査、クラミジア検査、腹腔鏡検査など
- 子宮因子: 子宮卵管造影検査、超音波検査など
- 頸管因子: 頸管粘液検査、性交後検査(フナー検査)など
- 免疫不妊: 抗精子抗体

不妊症の治療は確立されたものとなってきましたが、身体的・経済的負担のみならず精神的負担も大きく、治療にあたって心のケアも含めた対応が必要です。当院では心のケアを含めた治療を重視するとともに県内の複数の施設とも協力して個々の患者さんに合った治療を選択しています。

第40回

診療科のご紹介

眼科



眼科スタッフ

(前列右から3人目が桐生部長、4人目が三木部長)

平成17年に桐生純一主任部長が赴任以来、網膜硝子体疾患と呼ばれる領域の診断・治療を専門的に取り組んでいます。網膜硝子体に関しては、日本でもトップクラスの診療レベルにあります。平成22年7月に小児眼科、神経眼科、斜視弱視を専門とする三木淳司部長が赴任、診療の幅がますます広がっております。導入されている機器も限られた施設にしかないものが数多くあります。平成28年は白内障手術809件、緑内障手術156件、網膜硝子体手術295件、斜視手術50件となっております。現在、当科では13名の眼科医師(内非常勤2名)、10名の視能訓練士(福祉大からの非常勤も含む)、看護師3名が眼科スタッフとして患者さんの視機能の向上に日夜、尽力しております。

眼科のホームページはこちら

詳細はホームページをご覧ください。
https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/dept_025/dept_s_dtl/



気になる!

男性の不妊症について

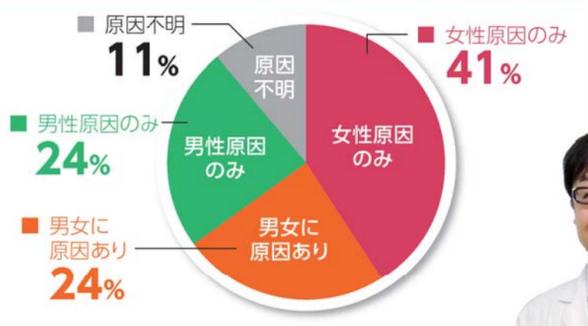
川崎医科大学附属病院
泌尿器科 医長

原 綾英

不妊症の基本知識

「結婚してから妊娠を希望し、通常の夫婦生活をいとなんでいるにも関わらず、1年間、妊娠の成立がない状態」を不妊症といいますが、現在、6組の夫婦のうち1組が不妊症であると言われています。約半数に男性にも原因がありますが、不妊症という点、女性因子ばかりであると考えられがちです。男性に原因があることも理解の上、夫婦そろっての専門機関の受診と正確な知識を得ることが大切です。

世界保健機構による不妊症7,273カップルの調査



男性不妊症

男性不妊症を分類すると、①精子をうまく造ることができない(造精機能障害)、②精子の通り道が詰まっている(精路の閉塞)、③勃起や射精がうまくできない(性機能障害)に分類することができます。

1 造精機能障害

世界保健機構の提唱する精液所見の正常値は、液量・1.5 ml以上、濃度(数)・1500万/ml以上、精子運動率・40%以上、正常精子・4%以上です。造精機能障害の男性不妊症の患者さんでは、この数値のいずれか、もしくは全てで正常値を下回っています。原因としては、約70%が特発性(原因不明)で、約20~30%は精索静脈瘤、内分泌異常や染色体異常はごく少数です。精索静脈瘤とは精巣のすぐ上の静脈叢がこぶ状のしこりをつくり、そこに血液が停滞する疾患です。熱ストレスや酸化ストレスにより造精機能障害を呈します。静脈瘤は手術で根治可能です。我々は顕微鏡を用いた手術を行っています。当科では過去5年間で約300例の手術を行っています。

2 精路の閉塞

原因は、先天的な疾患から、感染症後、医原性、パイパカット後など多岐にわたります。精路の再建(閉塞を治す)が第一選択ですが、精巣から精子を採取する方法も広く行われています。この場合は、1個の卵子に精子を注入する顕微授精が適応になります。

3 性機能障害

この年代の勃起不全(ED)は、心因性がほとんどです。排卵日EDという言葉がありますが、排卵日の過度なプレッシャーは、男性をEDにさせてしまう恐れがあります。その他、うまく膈内に射精ができない患者さんや挿入前に射精をしてしまう早漏の患者さんなども性機能障害にあたります。恥ずかしさ故に、受診を敬遠されがちですが、どんな性機能の悩みでもプロに相談して頂きたいと思えます。解決策は必ず見つかります。

不妊症のチェックリスト

□ 妊娠を希望してから1年間、妊娠に至っていない。

チェックに当てはまる方は…

チェックに当てはまる方は、必ず専門機関を夫婦で受診して下さい。尚、2人目、3人目を希望されてから1年間妊娠に至らないケースも同様です。1人目を出産以降に種々の原因が生じることがあります。



性機能障害のチェックリスト

- 勃起を維持する自信がない
- 最近、精液量が減った
- 勃起時、十分な硬さがない
- 射精が困難である(膈内射精含む)
- 性交を試みた後、満足できない
- 射精時の快感が減った
- 射精に勢いがいない

上記に複数当てはまる方は…

性機能障害が疑われます。今現在、妊娠を希望されていない方でも、性機能障害は生活の質を著しく低下させます。ぜひ受診してください。

精液所見の大切な因子

1. 精子数
2. 運動率
3. 正常形率

不妊症の方では…

2人に1人以上の人が、精液所見に何らかの問題があります。

気になる方は、「泌尿器科」を受診ください。

ホームページリニューアルのお知らせ

川崎医科大学附属病院のホームページを、リニューアルしました。コンテンツのわかりやすさを重視し病院の特徴を紹介しています。また、新たに「病名から診療科を探す」のコーナーなどを設け、多くの診療科がある中で自分の病気がどの診療科で診察してもらえるのか検索できるようになりました。スマートフォンでもご覧頂けるようになりました。皆さん、是非ご覧ください。

「外来受診の方」ページ

病名から診療科を探す

■トップページ URL: <https://h.kawasaki-m.ac.jp/>

連携医療機関のご案内

金光病院の前身は岡山大学附属病院金光分院で医療法人になり60周年を迎えました。浅口市の市民病院の役割を担っており、急性期から慢性期に至る幅広い医療を行い、平成29年4月からは老人介護保険施設も併設し、介護部門も始めています。地域包括ケアシステムの中で、高次病院である基幹病院と地域の診療所、病院、施設、在宅等の中間の病院として貢献しております。内科、外科、泌尿器科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻科、小児科、リハビリテーション等に対応し、外科、泌尿器科、整形外科は積極的に手術も行っています。がんの化学療法リウマチ科循環器内科、糖尿病科の専門外来も行っていきます。人間ドック、各種健診にも対応します。

所在地-----〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田740
お問合わせ---TEL 0865-42-3211
HP-----http://konkohp.jp/
休診日-----日曜日、祝日

理事長・院長 難波 義夫 先生

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30-11:45	○	○	○	○	○	○	—
13:30-17:00	○	○	○	○	○	○	—

※土曜日は16:00までの受付となります。ご注意ください。
各診療科の、診療日・診療時間は以下よりご確認ください。
<http://konkohp.jp/shinryo/time>

イベントのご案内

1月 27日 土曜日 外来糖尿病教室(食事会)
日時 平成30年1月27日(土)11:30~13:00
場所 本館10階 集団栄養指導室
対象 当院外来受診の方とその家族16名(定員になり次第、締め切らせていただきます)
参加費 800円(テキスト・試食代含む)
お問合わせ 栄養部086-464-1172
詳細ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/kenkokyousitu_04/kenkou/

3月 3日 土曜日 市民公開講座 第16回 物忘れフォーラム 若年性認知症を知る
日時 平成30年3月3日(土)13:15~16:00
場所 ぐらしき健康福祉プラザ
対象 一般
申込み・お問合わせ 認知症疾患医療センター 086-464-0661(直通)
詳細ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/ninchisyoubout/forum.php>

3月 24日 土曜日 第22回 がん市民公開講座
日時 平成30年3月24日(土)13:30~16:00
場所 川崎医科大学 校舎棟7階M-702教室
対象 一般
お問合わせ 患者診療支援センター 086-462-1111(内線22612)
詳細ホームページ https://h.kawasaki-m.ac.jp/data/canc_04_01/feature_dtl/

次号予告
Main 動脈瘤
【診療科紹介】放射線科(核医学診療)
・「静脈瘤」について
・病院の疑問解消!あれこれ
・連携医療機関のご案内
・イベントのご案内・次号予告

掲載内容は予告無く変更される場合があります。ご了承ください。